

# ニッポン

## 臨終回巻

ドクター和の



長尾和宏 (ながお・かずひろ) 医学博士。東京医大卒業後、大阪大第二内科入局。1995年、兵庫県尼崎市で長尾クリニックを開業。外来診療から在宅医療まで「人を診る」総合診療を目指す。この連載が『平成臨終回巻』として単行本化され、好評発売中。関西国際大学客員教授。

なりました。享年41。死因は、

「血管肉腫」との発表です。報

町医者としての私の日常は、朝イチから在宅医療。午前の外來。午後から在宅そして夜診。そこから深夜まで往診。時々、深夜や明け方のお看取り往診もあります。

夕方に在宅患者さんをまわると、場所中は、ほとんどのお宅のテレビが大相撲中継になっていました。先日、独居のおばあちゃんのお宅に訪問診療したとき。

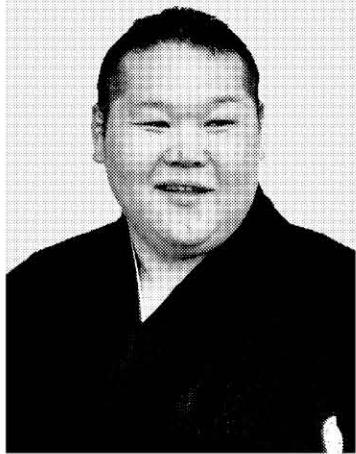
「潮丸が死んでもた」と泣きそつた顔をしていました。次の住宅に行くと、今度はおじいちゃんが悔しそうでした。「可愛い関取やったんや。これから親方として活躍するところだったのに若すぎる…」と。

相撲ファンに愛されていた、

元幕内力士の潮丸関（東関親方）が、12月13日に帰らぬ人と

### 潮丸関（東関親方）

(137)



道によれば、昨年11月頃より体調を崩し、治療をしていたよう

です。皮膚や内臓ではなく、骨

や筋肉や神経や脂肪組織にでき

るがんを、「肉腫」と呼びま

す。英語ではサルコーマと呼ぶ

こともあります。

胃や肺や大腸など内臓のがん

が多いですが、内臓のがん

は、頭部に怪我をした人にな

れば、頭部に怪我をした人にな

りやすいという結果も出てお

り、物理的な刺激が要因になっ

ている可能性も否めません。

それにも…この連載を続

けていてスポーツ選手の中で一

番多く取り上げている職業はお

相撲さんのよう

な気がします。

平均寿命は60代

前半とも言われ

ています。

怪我も厭(い

と)わない激し

い稽古、そして

食べに食べ続け

て大きくなるの

と眠るように逝きました。

41歳にして親方としての責務

を果たすため、病院から部屋に

帰って若い力士と家族に自らの

平穏死を見せて旅立たれた潮

丸。相撲魂をここに見た気がし

ました。

が仕事ですから、「体に悪いか

ら、食べるのを控えて」とは言

えません。日本の国技のため、

命をかけて闘っている力士さん

をただ見守るしかありません。

死の5日後、夫人はブログ

〈東関部屋 おかみさん日記〉

## 弟子たちの目に焼き付けた相撲魂